

山崎氏が経験まとめ初出版

自立を『無人島式』子育てメソッド はぐくむ

県社会教育委員で、NPO法人生涯学習サポート兵庫理事長の山崎清治氏がこのほど、自らの経験で得たノウハウで親子の関係づくりを手引きする「自立をはぐくむ『無人島式』子育てメソッド」(226頁、3千部発行)を上梓した。初の出版で、「親だけでなく、組織マネジメントを担う企業管理職も読んでほしい」と話している。

山崎氏は平成15年に同法人を設立し、子どもが自力で食料を調達しながら離島で7日間暮らす無人島学校をス

タート。全国から注目を集め、参加者は16年間で千人以上を数え、他にもさまざまな体験活動を企画、実施している。

無人島学校では多くのスタッフが脇から支えるが、役どころは見守りで

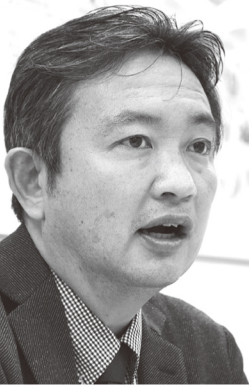
には子どもの健全育成の環境づくりがコロナ禍で置き去りにされている危機感があつたという。

「学校外活動が制限され、子どもたちが等しく体験で学べる場が激減した。いま、体験の格差が生じている」と警鐘。人

とふれあう機会が減ってコミュニケーション能力の成長が妨げられる懸念があり、その証左に無人島学校の志望動機で「友だちの作り方を学びたい」と答える子どもが増えているとも。

山崎氏は「AIやICTが発達した社会でどう生きるかは、学校だけで学べない」とし、「自分で判断し、行動する力を養う子育てが重要で、学校外活動で青少年団体が果たす役割は大きい。本書からノウハウを読み取り、心を動かしてもらえば」と呼びかけた。

自由国民社発行、1650円(税込のみ)。問い合わせは☎03・6233・0781。



「与えられすぎ」の状態を変えるだけで、子どもは自分で考え、行動するようになる